

近畿のなかま

No 37
2011・9・27

発行人
金融労連近畿地協
事務局長
福井悦雄

仲間を増やしてパワハラ根絶へ

金融労連第6回定期全国大会に近畿から12人参加

9月17～18日、日本青年館（東京）で開催された金融労連第6回定期全国大会に全国から92人が参加、近畿からも本部役員含め12人が参加しました。

近畿からは、京都北都の仲間が舞鶴での脱原発のとりくみや、職場の切実な要求をとりあげる中で組合員を増やした活動、退職金改悪を許さないとりくみなどを報告したのをはじめ、滋賀での機関紙を中心とした活動、金融ユニオンでの非正規労働者の雇用確保のとりくみなどが報告されました。

支店長からのパワハラにより、退職届を書かされた八千代銀行の中野さんの主張をもとに作られたパワハラ再現DVDの上映

が行なわれたのをはじめ、例年以上にパワハラとのたたかひの報告が数多く出されました。

また、パワハラ加害者が被害者の人事考課や報復人事を行なうなど、被害が各方面へ広がり、同時に矛盾点も噴出している職場実態も報告されました。

その中で、金融労連の組合へ

「パワハラを何とかしてほしい」と次々に相談が寄せられるなど、頼りにされていることも明らかになっていきます。

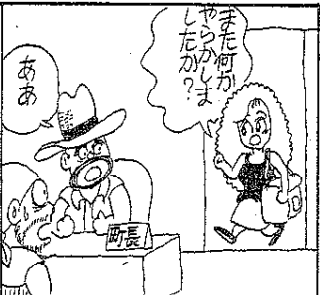
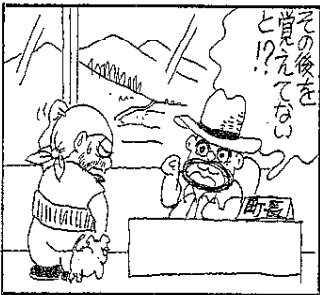
労働者を心の病に追い込み、人生までも破壊するパワハラを根絶するため、仲間を増やし、金融労連を大きくして全体でとりくむことが求められています。

台風12号、近畿にも大雨被害

9月3～4日にかけて、三重・奈良・和歌山の3県を中心に大雨の被害をもたらした台風12号は、近畿地方の金融機関の営業にも大きな影響をもたらしました。過去最多の1千ミリを超える雨量を記録した和歌山県田辺市の被害が発生しました。心よりお見舞い申し上げます。



カマヤん 歓喜の表現 ありむら瀧



近畿地協第6回定期大会のご案内

日時 2011年10月29日（土）
11時～16時
場所 東大阪石切「ホテルセイリュウ」
議題 一、2011年度たたかひの総括
一、2012年度運動方針
一、決算・予算
一、役員選挙

2012年度金融労連近畿地協役員選挙告示

選挙管理委員長 森 廉始

2012年度金融労連近畿地協役員選挙について下記の通り告示します。

記

- 一、投票日 2011年10月29日（土）
- 一、場 所 近畿地協第6回定期大会会場
- 一、定 員 議長 1名
副議長 4名
事務局長 1名
事務局次長 2名
会計監事 2名
- 一、立候補締め切り 10月29日（土）正午
- 一、文書をもって選挙管理委員長宛届け出ること

「死ね」「会社辞めろ」「給料泥棒」発言は明らかなパワハラ

住友信託銀行がパワハラ発言を具体化

パワハラが大きな社会問題化しています。メンタル不全に直結する可能性が極めて高いパワハラへの対応は待ったなしです。

そういう中、住友信託銀行は金融ユニオンとの大阪での団体交渉の中で、パワハラ
の具体的発言例として、「死ね」「会社辞めろ」「給料泥棒」の3態様の発言は、どのような状況があったにせよ、「パワハラ」発言だと認めました。

もちろんこの三つの発言は、あくまでも典型例にすぎず、同様の趣旨の発言もパワ

ハラに該当するのは言うまでもありません。注目すべきは、これまでセクハラに比べて対応が遅れていた、パワハラ問題を企業側がようやく防止に向けて動き出したと思われることです。

しかし一方で、管理職を集めて「ここま
でならパワハラには該当しない」というよ
うなパワハラ容認とも受け止められる研修
をしている信金も生まれるなど、企業こと
に対応のバラツキも目立ちます。労働組合
の連携を強めてパワハラの根絶を！

当面の日程

- 10月11日(火) きらやか銀行裁判、現地行動(山形)
- 13日(木) 渡島信金道労委審問(札幌)
- 19日(水) 滋賀銀行従組定期大会(守山)
- 22日(土) きのくに分会大会(湯浅)
近畿地協四役会議(西日本事務所)
- 29日(土) 近畿地協定期大会(東大阪市)
- 30日(日) 近畿地協第1回常任幹事会
- 11月12~13日(土・日) 金融労連女性の集い(羽田)
- 18日(金) 金融共闘中央行動
- 19日(土) 京都都信金従組結成10周年記念大会(宮津)
- 19~21日(土~月) 全労連全国集会2011(浜松)
- 25日(金) 全労連争議支援総行動、金融労連中執委
- 26~27日(土・日) 金融労連春闘討論集会(熱海)
- 27~28日(日・月) 全労連共済事務研修会
- 12月2日(金) 国民春闘討論集会
- 6日(火) きらやか銀行裁判集中証人尋問(山形)
- 9日(金) 八千代銀行裁判集中証人尋問(東京)

図書紹介「シャイロックの子供たち」

池井戸潤著・文春文庫629円(税別)
今年「下町ロケット」で直木賞を受賞した旧・三菱銀行出身の作家池井戸潤の小説。

投資信託販売実績発表の場面から始まるこの小説は、私たち金融機関の現場で日々苦しめられている身近な問題が満載で、ついつい自分がこの小説の銀行の支店に勤務しているかのような感覚に引きずり込まれていきます。

厳しいノルマ、パワハラや女性行員間の陰湿ないじめ、不祥事件をめぐるタチの悪い上司の責任転嫁、そして家族をめぐる問題など、金融機関でありがちな問題を巧みに描いてあつという間に読了してしまいました。人間の尊厳よりも会社の存続を優先する巨悪へ向けられた作者の義憤がひしひしと伝わってくる一冊です。金融ユニオンきのくに信金分会の太田典男さんお薦めの書です。



最低賃金改定

時間給で働く仲間にも知らせよう
新しい最低賃金額が確定し、10月1日から順次適用されます。

今回の最低賃金の改定では、1円から18円まで引上げ額が大きくばらつきました。

| 近畿の最低賃金改定額 | | 改定額 | 引上額 | |
|--------------|-----|------|-----|------|
| 滋賀 | 京都 | 709円 | 3円 | |
| 大阪 | 兵庫 | 751円 | 2円 | |
| 奈良 | 和歌山 | 786円 | 7円 | |
| 全国平均 | | 739円 | 5円 | |
| | | 693円 | 2円 | |
| | | 685円 | 1円 | |
| | | 737円 | 7円 | |
| 上位は東京 | | 837円 | 神奈川 | 836円 |
| 最低は岩手・高知・沖縄の | | 645円 | | |

政府と労使代表は「早期に時間額800円の実現」で合意していますが、改定後も岩手・高知・沖縄の3県は645円で思い切った引上げが求められています。

近畿でも最高が大阪が東京や神奈川に時間給で50円もの格差が生じています。
もちろん高校生などのアルバイト代にも適用されます。精度の高い仕事が求められる金融機関でも、これらの最低賃金レスレの時間給のところが見られるだけに労働組合として時間給の大幅引上げに全力で取り組むことが期待されています。